

消火器 センターだより

病気の火の元  早期発見・早期消火！ 秋号（創刊号）

編集長 真生会富山病院 消化器センター 真野

当センターでは、消化管（食道、胃、十二指腸、小腸、大腸）、肝臓、胆道、膵臓など、消化器全般の診療を行っています。

スタッフがつれづれなるままに、消火器ではなく消化器についてのお役立ち情報をつぶやきますので、どうぞお付き合い下さい。

いのち未来学校 消化器がんについて講演

6月18日、大門総合会館にて公開講座「いのち未来学校」が開かれ、「消化器がんの診断と治療」をテーマに真野が講演しました。

日本での死因は、1位 悪性新生物（いわゆる“がん”）、2位 心疾患、3位 老衰です。射水市の3人に1人は、がんで亡くなるという衝撃の事実。せめてがんで命を落とさず老衰で、と思いますね。健康長寿には、がんの予防、早期診断、適正な治療が欠かせません。

がん死亡数の男女別順位

右表は、がん死亡数の男女別順位です。

ちなみにがんにかかる数（罹患数）では、男性は前立腺がん、女性は乳がんがトップです。いずれにしても消化器のがんは多く、**特に大腸がん、膵臓がん**は、年々増加しており、要注意です。

	男性	女性
1位	肺がん	大腸がん
2位	大腸がん	肺がん
3位	胃がん	膵臓がん
4位	膵臓がん	乳がん
5位	肝臓がん	胃がん

がん予防には、禁煙、食生活（減塩、野菜果物を摂る）、適正体重、適度な運動、節酒の5つの健康習慣、そしてがん検診が大切です。自治体のがん検診、職場の健康診断（不十分な場合もあります）、人間ドックなど積極的に受診しましょう。

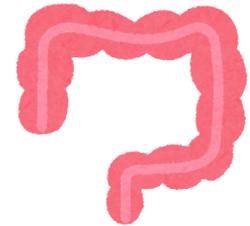
9月は同会場で本藤医師が大腸がん予防の講演を予定しています。

大腸がんの検査と予防について詳しく解説します。質疑応答も時間をとって行いますのでお気軽にご参加ください。

（裏面に続く）



今回は、大腸がん特集です。（文責：本藤）



1 大腸がんとは

大腸に発生するがんで、罹患数、死亡数ともに増加しています。毎年15万人以上が新たに大腸がんと診断され、死亡者は5万人以上。なんと女性のがん死亡の1位、男性は2位です。初期は無症状ですので検診等で早めに見つけることが重要です。早期ならば内視鏡で切除もできますので、体にかかる負担が少なく治すことができます。

2 大腸ESDの認定施設となりました

早期大腸がんの内視鏡治療法として、内視鏡的粘膜下層剥離術（大腸ESD）があります。大腸は他の臓器と比して壁が薄く（2～3mm）、構造が複雑なため、高い技術が要求されます。したがって実施には各種条件をクリアして認定施設となる必要があります。当院では今年度に認定があり、大腸ESDが施行可能となりました。毎週、外科との合同検討会で意見を出し合い、富山大学病院とも連携しながら治療に当たっています。

3 大腸内視鏡検査の解説動画を作成しました

大腸がんの早期発見、早期治療を目指して、大腸内視鏡検査の解説動画を作成しました。

- ・大腸内視鏡検査を受けるタイミングは？
- ・便潜血検査とは？陽性になったらどうしたらいいの？
- ・大腸内視鏡検査を受けるには？
- ・実際に大腸内視鏡検査を受けた方の感想など手軽に学んでいただけます。



- ・40歳を超えた方に伝えたいこと～大腸内視鏡検査のすすめ～
https://www.youtube.com/watch?v=WM8g_cp8G4E



- ・大腸内視鏡検査のながれ
<https://www.shinsekai.jp/department/shoukakika/detail01.html>



QRコードからも動画をご覧になれます。診察の待ち時間などにご活用いただけたら幸いです。今後もお役立ち情報をお届けしますので、ご期待ください。